

SAP(Sensor Augmented Pump therapy)始めました

2015年2月より、糖尿病患者さんがインスリンポンプ療法をしながら、リアルタイムで自分の血糖の動きを見ることが出来る、SAP療法が保険適応となりました。自己負担が月に3万円程度と値段が高い治療ですが、ご興味のある方はお声をおかけ下さい。

必ずしも入院しなくても、当院外来で開始できます。

当院は今までも、インスリン皮下持続注入療法(CSII:インスリンポンプ)を外来で開始、診察をしてきました。また、「糖尿病を専門に診療する複数の常勤医師がいる」要件を満たし、CGM(持続グルコースモニタリング)検査も行ってきました。SAPはこの二つの融合系ともいえます。実物をお見せしたりもできます。お気軽にご相談下さい。

SAP(Sensor Augmented Pump)

インスリンポンプにパーソナル(リアルタイム)CGM機能を搭載したシステムです

インスリンポンプ



パーソナル(リアルタイム)CGM



- ✓ 低血糖のリスクを高めることなく最適な血糖コントロールの達成を支援します。
- ✓ 血糖値の過度な上昇や低下をタイムリーにお知らせします。

MiniMed® 620G